

平成 28 年度 温熱生理研究会

プログラム・要旨

開催日程：平成 28 年 8 月 29 日（月）～ 30 日（火）

場所：岡崎コンファレンスセンター2階 小会議室

発表は13分以内で討議時間を必ず7分以上残すようにお願いします。

平成27年8月29日(月) 13:00

13:00-13:05
世話人挨拶

Session 1

演題番号 1; 13:05-13:25

エストロジオール欠乏が暗期暑熱中の体温調節に与える影響
丸井朱里, 永島 計 (早稲田大学 人間科学研究科 体温・体液研究室)

演題番号 2; 13:25-13:45

高体温時の認知機能低下に対する頭部冷却および全身冷却による効果
大城 岬¹, 中田大貴², 芝崎 学³ (奈良女子大学)

演題番号 3; 13:45-14:05

暑熱負荷時の総頸動脈血管コンプライアンス
岡村さくら, 永富和音, 芝崎 学 (奈良女子大学 生活環境学部)

演題番号 4; 14:05-14:25

顔・手・足部位のヒト温熱認知処理過程の特性
坂本貴和子¹, 中田大貴², 柿木隆介¹
(¹生理学研究所 統合生理研究部門, ²奈良女子大学 研究院生活環境科学系)

演題番号 5; 14:25-14:45

暑熱環境下におけるヒト体性感覚認知処理過程の特性
中田大貴¹, 大城岬², 難波真里², 芝崎学¹
(¹奈良女子大学 研究院生活環境科学系, ²奈良女子大学 人間文化研究科)

14:45-15:00 (休憩)

Session2

演題番号 6; 15:00-15:20

高温培養による組織工学的ヒトiPS心筋組織内残存未分化iPS細胞除去手法開発
松浦勝久^{1,2}
(¹東京女子医科大学 先端生命医科学研究所, ²東京女子医科大学 循環器内科)

演題番号 7; 15:20-15:40

温度応答的な新規寿命制御因子コシャペロン*daf-41/p23*の分子機能
堀川 誠^{1,2}, 瀬藤 光利^{1,3}, Adam Antebi²
(¹浜松医科大学 医学部 細胞分子解剖学講座, ²Max-Planck Institute Biology of Aging [Germany], ³国際マスイメージングセンター)

演題番号 8; 15:40–16:00

新規な褐色脂肪化誘導因子・分泌糖タンパク質CREG 1

楠堂達也^{1,2}, 橋本理尋², 竹内環², 片岡直也³, 山下均²

(¹帝塚山学院大学 人間科学部, ²中部大学 生命健康科学部, ³名古屋大学大学院 医学研究科)

16:00–16:15 (休憩)

Session3

演題番号 9; 16:15–16:35

褐色脂肪細胞の活性化により核に集積するリン酸化タンパク質

水谷 嶺, 井上 智博, 森口 剛介, 松村 潔

(大阪工業大学 工学部 生命工学科 工学研究科 生体情報研究室)

演題番号 10; 16:35–16:55

社会心理ストレスによって活性化される腹側前頭前皮質–視床下部背内側部の神経投射は褐色脂肪熱産生と体温上昇を駆動する

片岡直也¹, 中村和弘^{1,2} (¹名古屋大学大学院 医学系研究科 統合生理学, ²JST さきがけ)

演題番号 11; 16:55–17:15

ニューロペプチドYは延髄網様体GABAニューロンを介して熱産生抑制を行なう

中村佳子¹, 柳川右千夫², Shaun F. Morrison³, 中村和弘^{1,4}

(¹名古屋大学大学院医学系研究科統合生理学, ²群馬大学大学院医学系研究科遺伝発達行動学, ³Department of Neurological Surgery, Oregon Health & Science University, USA, ⁴PRESTO, JST)

演題番号 12; 17:15–17:35

Hypometabolism during Torpor in Mice is Dominated by Reduction in the Sensitivity of the Thermoregulatory System

休眠マウスの代謝低下は熱産生フィードバックのオープンループゲインの

低下が主たる要因である

砂川 玄志郎, 高橋 政代

(理化学研究所 多細胞システム形成研究センター 網膜再生医療研究開発プロジェクト)

終了後懇親会

平成 27 年 8 月 30 日 (火) 9:00

Session 4

演題番号 13; 09:00–09:20

Involvement of extracellular Ca^{2+} in the heat-evoked activation of green anole TRPA1
Erkin Kurganov^{1,2}, Makoto Tominaga^{1,2,3}

(¹Division of Cell Signaling, NIPS, Okazaki, Japan, ²The Graduate University for Advanced Studies, SOKENDAI, ³Okazaki Institute for Integrative Bioscience, Okazaki, Japan)

演題番号 14; 09:20–09:40

Characterization of malarial mosquitoes' TRPA1

Tianbang LI^{1,2}, Wuping SUN^{1,2}, Makoto TOMINAGA^{1,2}

(¹Department of Physiological Sciences, SOKENDAI, Okazaki, Japan, ²Division of Cell Signaling, Okazaki Institute for Integrative Bioscience (National Institute for Physiological Sciences), Okazaki, Japan)

演題番号 15; 09:40–10:00

生理的味覚性発汗神経路は温熱性発汗神経路と異なる：味覚性半側発汗障害例の病態解析による TRPV1 刺激性発汗経路の推定

犬飼洋子, 岩瀬 敏 (愛知医科大学 医学部生理学講座)

10:00–10:15 (休憩)

Session 5

演題番号 16; 10:15–10:35

水循環ベストとプレクーリングの併用による暑熱負担の軽減効果

時澤 健, ソン スヨン, 岡 龍雄, 安田 彰典 (独立行政法人 労働安全衛生総合研究所)

演題番号 17; 10:35–10:55

頸髄損傷者と健常者における暑熱・寒冷負荷に対する皮膚血管応答の比較

上條義一郎¹, 芝崎 学², Jan van der Scheer³, 中田朋紀¹, 木下利喜生⁴, 児嶋大介⁴, 橋崎孝昌⁴, 川西 誠⁴, 大野千種⁴, 西村行秀¹, 田島文博¹

(¹和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学, ²奈良女子大学 生活環境学部, ³Loughborough Univ. Peter Harrison Centre for Disability Sport, ⁴和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション部)

演題番号18; 10:55–11:15

皮内マイクロダイアリススを用いたノルアドレナリンの測定

芝崎学¹, 上條義一郎², 中田朋紀², 木下利喜生², 橋崎孝昌², 大野千種², 西村行秀², 田島文博²

(¹奈良女子大学 生活環境学部, ²和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学)

11:15–11:25

閉会の辞